

避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち
自宅の災害リスクと**とるべき行動**を
確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取り組みましょう！**

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、**原則として※、立退き避難**(自宅の外に避難)が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**屋内安全確保**(自宅に留まり安全確保をすること)も可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、親戚、知人宅、集会所、避難所等の安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル4避難指示が出たら、親戚、知人宅、集会所、避難所等の安全な場所に避難しましょう。

知人・ご近所の方と日々相談しておきましょう